

Web設定画面へのログイン

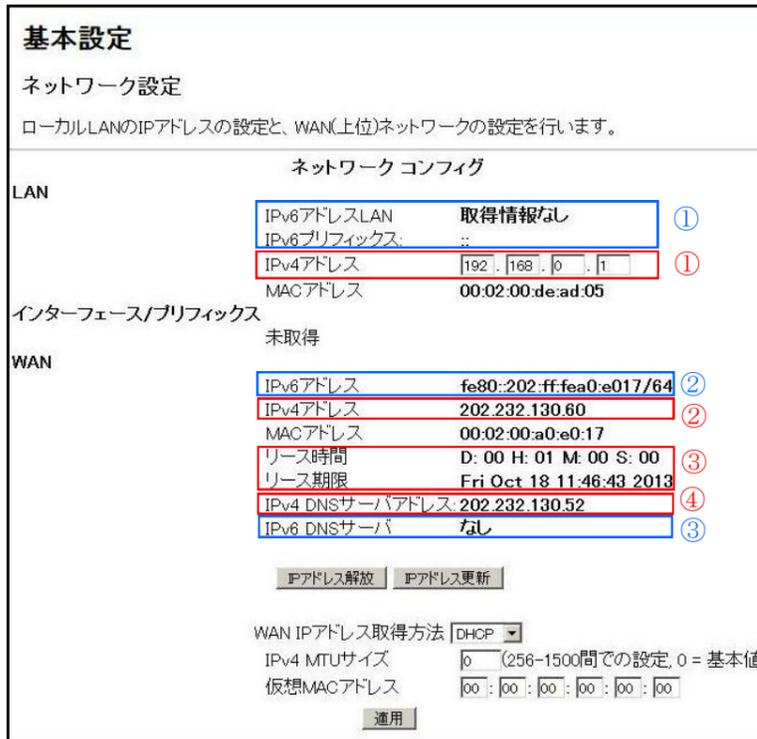
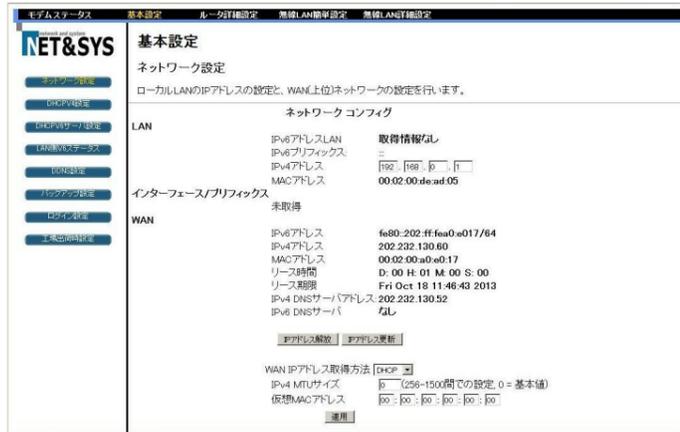
1. 本製品とパソコンを有線（LANケーブル）もしくは無線で接続します。
2. Webブラウザ(Internet Explorer、Firefox、Safari、Chromeなど)を起動し、192.168.0.1を入力し[Enter]キーを押す。



3. ユーザー名、パスワードを入力し[OK]ボタンを押す。
入力するユーザー名とパスワードは、本製品に貼付されているラベル記載の Login/passwordを確認ください。
※お客様にてユーザー名とパスワードを設定された場合は設定内容が反映されています。



4. ログインに成功すると以下の画面が表示されます。



加入しているケーブル局がIPv4対応の場合表示されます。

- ①初期値 192.168.0.1（本製品に貼付のシールに記載）変更が可能ですが、他のSSIDで予約されていて使用できない値を入力した場合はエラーが表示されます。
- ②上位ネットワークから割り当てられたIPv4アドレスが表示されます。
- ③IPv4アドレスのリース時間とリース使用期限が表示されます。
- ④IPv4のDNSサーバのアドレスが表示されます。

加入しているケーブル局がIPv6対応の場合表示されます。

- ①LAN側のIPv6のリンクローカルアドレスとDHCP-PDで取得したIPv6アドレスのプレフィックス部分が表示されます。
- ②上位ネットワークと通信するためのIPv6リンクローカルアドレスが表示されます。
- ③IPv6のDNSサーバのアドレスが表示されます。

LAN MACアドレス：本機のLAN側のMACアドレスが表示されます。

WAN MACアドレス：本機のWAN側（上位との通信用）のMACアドレスが表示されます。

WAN IPアドレス取得方法：通常は【DHCP】のままご使用ください。

IPv4MTUサイズ：MTUサイズを指定します。

設定が完了したら **適用** を押してください。

基本設定

DHCPV4設定

LAN側のIPv4 DHCPサーバの設定を行います。

DHCPサーバ機能 有効 無効

開始アドレス 192.168.0.10

接続可能な端末の数 245

リースタイム 3600

適用

DHCPクライアント情報

MACアドレス	IPアドレス	サブネットマスク	リース時間	リース期限	選択
0024a5d5f53c	192.168.0.010	255.255.255.000	D:00 H:01 M:00 S:00	Fri Oct 18 11:52:13 2013	<input type="checkbox"/>

現在のシステム時刻: Fri Oct 18 11:09:43 2013

強制解除

DHCPサーバ機能：DHCPサーバ機能をボタン 有効 無効 で設定します。
初期設定では【有効】となっています。

開始アドレス：端末に割り当てる範囲の最初のIPアドレスを入力します。

接続可能な端末の数：本機に同時に接続できる端末の数を設定します。

リースタイム：DHCPサーバ機能で割り当てるIPアドレスの有効期限を分単位で入力します。

DHCPクライアント情報：IPアドレスの払い出し情報を確認する事ができます。
端末のリース情報を削除する場合は、削除したい行を選択し **強制解除** を押します。

基本設定

LAN側V6ステータス

LAN側のIPv6に関連する情報を表示します。

ステータスアドレスの自動設定

[IPアドレス](#) [MACアドレス](#) [外部からのアクセス状態](#)

本製品に接続された端末のIPv6情報が表示されます。

端末に割り当てられたIPv6アドレス、IPv6アドレスを取得した端末のMACアドレスが確認できます。

注意：本ページに情報が表示されるのは本製品が、上位からIPv6アドレスを取得した場合のみとなります。

基本設定

DDNS設定

ダイナミックDNSサービスの設定を行います。

DDNSサービス	無効
ユーザー名	<input type="text"/>
パスワード	<input type="text"/>
ホスト名	<input type="text"/>
IPアドレス	202.232.130.60
ステータス	DDNSサービスが有効にされていません。
	<input type="button" value="適用"/>

DDNSサービス：DDNSサービス機能を有効にするか無効にするかを設定します。初期設定では【無効】となっています。

サービスを開始するにはDDNSサービス を選択し、ユーザー名 パスワード にDDNSサービスで登録した情報を入力し、 を押します。IPアドレスとステータス情報が表示されます。

基本設定

バックアップ設定

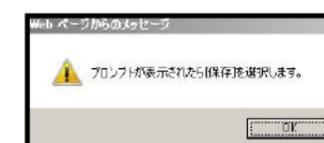
設定情報のバックアップ、バックアップした設定を復元します。

<input type="button" value="参照..."/>	ファイルが選択されていません。	<input type="button" value="復元"/>
		<input type="button" value="バックアップ"/>

本製品に設定した情報のバックアップを行ったり、バックアップした情報の復元を行います。

本製品の設定情報のバックアップ方法

1. ボタンを押します。
2. 下記の画面が表示されたら【OK】ボタンを押す。



3. 表示されたダイアログボックスの【保存】ボタンを押す。



GatewaySettings.binのファイル名で保存されます。保存先は使用するブラウザによって異なりますので、ご自身で確認ください。

本製品の設定情報の復元方法

1. ボタンを押し、バックアップで保存したファイルを選択してください。
2. GatewaySettings.binファイルを選択し、 ボタンを押します。

基本設定

ログイン設定

WEB設定画面のログインID/パスワードを設定及びモデムの動作モードの変更を行います。

変更するユーザーID	<input type="text"/>
新しいパスワード	<input type="password"/>
新しいパスワード(再入力)	<input type="password"/>
現在のパスワード	<input type="password"/>
動作モード <input type="radio"/> ブリッジモード <input checked="" type="radio"/> ルータモード	
<input type="button" value="適用"/>	

ログイン設定（ユーザーID・パスワード）の設定を行います。

1. 変更するユーザーID：変更するユーザーIDを入力します。
2. 新しいパスワード：変更するユーザーIDの新しいパスワードを入力します。
3. 新しいパスワード（再入力）：入力ミス防止のため、再度同じものを入力します。
4. ボタンを押すと新しいパスワードに変更されます。

基本設定

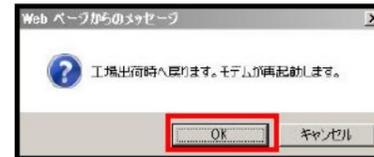
工場出荷時設定

設定情報の全てを工場出荷時状態へ戻しますか？ 有効 無効

本製品を工場出荷時（初期化）の設定に戻します。

初期化をすると本製品の設定内容がすべて消去されます。初期化する前に設定情報のバックアップをするか、必要な情報をメモなどに控える事をお勧めします。

1. 設定情報の全てを工場出荷状態へ戻しますか？ 有効 無効 を選択。
2. 表示されたダイアログボックスの【OK】ボタンを押す。

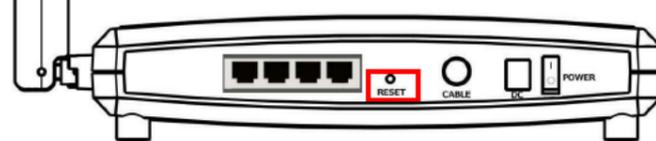


3. ボタンを押すと、本製品が再起動し工場出荷状態に戻ります。

ハードウェアでの工場出荷時（初期化）の設定

お客様自身で設定されたパスワードを忘れてしまった場合、何らかの原因で設定用Web画面にログインできなくなった場合は以下の手順で初期化をすることができます。

1. 本製品が正常にオンラインになっている事を確認する。
オンライン状態の確認は本製品に同梱されている取扱説明書【LEDランプの表示について】をご参照ください。
2. 本製品背面の【RESET】ボタンをつまようじなどで押し続けてください。



3. すべてのLEDランプがいったん消灯し、再度点滅し始めれば初期化の完了です。

注意：本製品の初期化を行うと、再設定が必要となりますので設定内容を事前に控えておくなどしてください。

ルータ詳細設定

オプション設定

ゲートウェイ詳細情報の設定を行います。

WAN側からPING応答ブロック	<input checked="" type="checkbox"/> 有効
IPsec/パススルー	<input type="checkbox"/> 有効
PPTP/パススルー	<input type="checkbox"/> 有効
遠隔操作	<input type="checkbox"/> 有効
マルチキャスト通過	<input checked="" type="checkbox"/> 有効
UPnP有効化	<input checked="" type="checkbox"/> 有効

パススルーMACアドレス(設定例: 01:23:45:67:89:AB)

アドレスエントリ数: 0/32

WAN側からのPING応答ブロック

：WAN側からのPINGに回答させたい場合はチェックをはずしてください。
初期設定は【有効】（PING応答しない）になっています。

IPsec/パススルー

：VPNで利用される暗号化通信を通過させるか指定します
初期設定は【無効】となっています。

PPTP/パススルー

：VPNで利用される暗号化通信を通過させるか指定します。
初期設定は【無効】となっています。

マルチキャスト通過

：マルチキャストを通すかの設定をします。
初期設定は【有効】（マルチキャストを通す）となっています。

UPnP有効化

：UPnP機能を使用するかの指定をします。
初期設定は【有効】となっています。
本機能を無効にすると一部のアプリケーションで通信が制限されたり動作しなくなったりする事があります。

パススルーMACアドレスの設定

：パススルーさせたい機器のMACアドレスを入力し を押してください。最大で32アドレスまで設定可能です。

設定したMACアドレスの削除

：削除したいMACアドレスの行を 選択して を押してください。

すべてのMACアドレスを削除する場合は行を選択せずに を押してください。

ルータ詳細設定

ポートフォワード設定

LAN側に設置されたWEBサーバ、メールサーバなどの特定のポート番号に対して、をインターネット側からのトラフィックをLAN側へフォワード(転送)する設定を行います。

IPv4生成 IPv6生成

ローカル

IPアドレス 開始ポート 終了ポート ポート 現状 有効 全削除

Application	Port
HTTP	80
FTP	21
TFTP	69
SMTP	25
POP3	110
NNTP	119
Telnet	23
IRC	194
SNMP	161
Finger	79
Gopher	70
Whois	43
rtelnet	107
LDAP	389
UUCP	540

WAN側から特定のポート番号宛てのトラフィックをLAN側に転送します。

転送先のLAN側のIPアドレスを指定します。

転送する開始ポート番号と終了ポート番号を指定します。

トラフィックの種類【TCP】【UDP】【両方】を指定します。

ブロックする場合は【有効】にチェックを入れます。最大10まで設定可能です。

上記の設定項目の変更を行った場合は必要に応じて IPv4生成 IPv6生成
いずれかのボタンを押してください。

ルータ詳細設定

ポートトリガー設定

ポートトリガー機能はアウトバウンドパケットポートをトリガーとして、インバウンドパケットの指定ポート番号を一時的に開けるものです。LANをWANに対してステルスに保ったまま、ポート番号のコントロールができます。

生成

トリガー範囲 ターゲット範囲

開始ポート 終了ポート 開始ポート 終了ポート ポート 現状 有効 全削除

トリガーポートで指定したポート番号宛てのトラフィックをLAN側から受信すると解放ポートで指定したポート番号宛てのトラフィックをWAN側からLAN側へ解放します。このWAN側からのトラフィックはトリガーとなったLAN側の端末へ転送します。

トリガーポート：LAN側のトリガーとなるポート番号を指定します。

解放ポート：トリガーを受けた際のWAN側からの解放するポート番号を指定します。

トラフィックの種類【TCP】【UDP】【両方】を指定します。

設定を有効にする場合は【有効】にチェックを入れます。最大10まで設定可能で初期設定では無効(解放・転送はしない)になっています。

上記の設定項目の変更を行った場合は 生成 ボタンを押してください。

ここでは2.4GHzの設定画面で解説しますが5GHzでも設定内容は共通となります。

ネットワーク名(SSID) MNG6200-E016-G

無線LANで使用するネットワーク名 (SSID) を設定します。
初期設定では本製品に貼付されたラベルに記載されている【SSID】を確認ください。



無線n/g/bの初期設定値は[-G]
無線n/a の初期設定値は[-A]となっています。

無線 有効

無線通信の[有効][無効]の設定を指定します。

初期設定では[有効] (無線通信可能) となっています。

帯域幅 40 MHz 現在の帯域幅: 40MHz

使用する帯域幅を設定します。
802.11b/g、802.11aでは20MHzの帯域幅のみが選択できます。
802.11nの場合は40MHzの帯域幅を使用する事でより高速な通信が可能です。
初期設定は[40MHz]となっています。

コントロールチャンネル側波帯(40 MHz使用時のみ) 上側 使用中の側波帯: 下側

802.11nで使用する帯域幅を40MHzに設定した場合において、隣接する20MHzのチャンネルのうちコントロールチャンネルとして上側・下側のどちらを使用するか設定します。

初期設定は[上側]になっています。

現在使用中のチャンネル 自動 使用中チャンネル: 1 ***干渉レベル: 使用可能

使用する無線チャンネルを指定します。自動を選択した場合周囲の電波状況に応じてチャンネルが選択され[使用中チャンネル]に表示されます。

初期設定は[自動]となっています。

設定が完了したら **適用** を押してください。

設定内容を初期設定に戻す場合は **初期設定に戻す** を押してください。

無線LAN詳細設定

プライマリWiFi設定

プライマリ無線ネットワークの設定と、暗号化の設定を行います。

無線通信の暗号化の認証方法を設定します。セキュリティレベルの高さは1. WPA/WPA2(AES) 2. WPA/WPA2(TKIP)の順となります。
WEPおよび無効についてはセキュリティを必要とされる通信を行う場合には使用しない事をお勧めします。

初期設定知は【WPA2-PSK】となっています。

WPA-PSK、WPA2-PSKで使用するWPA暗号化キーを設定します。キー表示にチェックを入れると使用中の暗号化キーを確認することができます。
初期設定されている暗号化キーは本製品に貼付されているラベルのPassphraseを確認ください。



簡単接続(WPS)機能

WPS

WPS Config State: Configured

モデム本体にあるWPSボタンを5秒以上押し続けてください。WPSのLEDが点滅中に子機の接続作業をしてください。

デバイス名 MNG6200

無線LANアクセスポイントのPINコード

UUID:bf379516dd358cc56c39d1a79a62e45b

PIN 18903966

PINコード生成

端末追加 追加

端末PIN

許可された端末MAC

簡単接続 (WPS機能)

WPS対応端末ではWPA-PSKまたはWPA2-PSKのセキュリティに簡単に接続する事ができます。本機能の【有効】【無効】を設定します。

初期設定値では【WPS機能有効】となっています。

PINコードをWPS端末に設定し接続する場合

: PIN 18903966 PINコード生成 を押すと新しいPINコードが生成されます。このPINコードを端末に登録する事で接続できます。

WPS対応端末のPINコードを本製品に登録する場合

: 端末追加 追加 を押し 端末PIN にWPS端末のPINコードを入力します。

本製品プッシュボタン方式を使用し接続する場合

: WPS端末を操作し、端末側のWPSボタンを有効にします。1分以内に本製品のWPSボタンを5秒以上押す事により接続ができます。

MNG-6200のWEP認証での接続方法

本製品とWEP方式に対応している端末で接続をする場合は、本製品にWEPの設定が必要となります。

1. Web設定画面にログインします。(本書のWeb設定画面へのログイン項目を参照)

2. 下記画面が表示されたら **無線LAN詳細設定** を押す。

The screenshot shows the 'NET&SYS' web interface. The top navigation bar includes 'モデムステータス', '基本設定', 'ルータ詳細設定', '無線LAN簡単設定', and '無線LAN詳細設定'. The left sidebar has a '無線LAN' section with 'セカンダリWiFi設定' highlighted. The main content area shows '基本設定' with 'ネットワーク設定' and 'ネットワーク コンフィグ' sections.

3. 表示されたページ左側サブメニューの **セカンダリWiFi設定** を押す。

The screenshot shows the 'NET&SYS' web interface. The top navigation bar includes 'モデムステータス' and '基本設定'. The left sidebar has a '無線LAN' section with 'セカンダリWiFi設定' highlighted. The main content area shows '無線LAN' with 'セカンダリWiFi設定' and 'アクセラレーション設定' options.

4. 表示されたページの

セカンダリネットワークの有効化 [有効] ①

暗号モード [WEP] ②

が選択されている事を確認し [適用] ボタンを押す ③

無線LAN詳細設定

セカンダリWiFi設定

セカンダリ無線ネットワークの設定と、暗号化の設定を行います。

The screenshot shows the 'セカンダリWiFi設定' page. The 'セカンダリネットワークの有効化' dropdown is set to '有効' (Enabled). The '暗号モード' dropdown is set to 'WEP'. The '適用' (Apply) button is highlighted with a red box and a circled number 3.

5. 4までの作業で本製品の設定は完了です。表示された画面の

セカンダリネットワーク名(SSID) MNG6200-E000-G0

ネットワークキー 1 |123456abcd

は、WEP認証で接続する無線機器を設定する際に必要ですので、メモを取るなどしてください。

※ネットワークキーは必ず1でご使用ください。変更した場合は接続する端末側で別途設定が必要となります。

セカンダリWiFi設定

セカンダリ無線ネットワークの設定と、暗号化の設定を行います。

The screenshot shows the 'セカンダリWiFi設定' page. The 'ネットワークキー 1' field is highlighted with a red box. The '適用' (Apply) button is also visible.

無線LAN詳細設定

アクセス制御設定

無線LANネットワークへ接続する端末をMACアドレスで制御する設定を行います。

無線インタフェース

MACアドレス制御有効化

MACアドレス

<input type="text"/>	<input type="text"/>

無線接続端末情報

MACアドレス	経路(a)	RSSI(dBm)	IPアドレス	ホスト名	モード	速度(kbps)
00:24:A5:D5:F5:3C	0	-42	192.168.0.11	Yoshida_PC	n	6500

本製品に接続する端末をMACアドレスで制御します。

初期設定では【無効】（制御しない）になっています。

制御の有効化方法

MACアドレス制御有効化 を選択し、ブロックしたいMACアドレスを のように入力し を押してください。

最大で20アドレスまで登録可能です。

無線LAN詳細設定

WMM設定

無線LANマルチメディアのQoSに関する設定を行います。

WMMサポート

No-ACKモード

省電力モード

WMM（WiFi MultiMedia）のQOS（優先制御）をサポートさせるかの設定をします。

通常では初期設定のままご使用ください。

無線LAN詳細設定

WiFi信号ブリッジ設定

無線リピータを接続するための、無線ブリッジ(WDS)設定を行います。

無線ブリッジ機能

無線リピータMACアドレス (設定例: 01:23:45:67:89:AB)

無線リピータを接続するための無線ブリッジ設定を行います。

初期設定では【無効】となっています。

無線リピータ接続方法

無線ブリッジ機能 にする。

無線リピータMACアドレス のように入力し を押してください。